

第一回 労使協議会

2014年10月1日 午前10時半より101号室にて第一回労使協議会がおこなわれました。

組合からは菊池委員長をはじめ、執行部7名、経営側からは山岡執行役員、仲執行役員、伊藤部長、深沢次長が出席しました。

伊藤部長より、9月4日に提出した申入書に対する回答がありました。

(経) 〓 経営側 (組) 〓 組合側

1、「首都高速帰路料金会社負担」について見直しを以下のように行う事。

①「首都高速帰路料金会社負担」については、最大930円までを会社負担とする事。

(経) 営業圏内までは負担しています。何故、突然930円負担なのですか？

(組) 最大930円ということですが、夜中は都心部以外営業が困難です。残りの時間に都心部に戻ることができれば営業効率も上がると思います。

(経) 乗務員全員が都心部で営業しているわけはありません。逆に高速料金を会社負担にすることで、ギリギリまで仕事をし、帰庫遅延になる乗務員が増えるのでは？

(組) それは会社が管理すべきことです。(経) 営業圏内までは負担しているので、最大930円会社負担ということではできません。

②圏央道の高速帰路料金は会社負担とすること。

(経) どのくらい利用があるか調査していきま

2、12月から3月の期間は、スタッドレスタイヤを4輪装着する事。スタッドレスタイヤの安全な保管場所を確保する事。

(経) 保管場所は確保してあります。スタッドレスタイヤも4輪装着できるように徐々に増やしています。しかし、シーズンで4輪装着することを受け入れることはできません。

(組) 私達の要求はシーズンでの4輪装着です。今後も要求していきます。

3、制服の支給基準を以下のように変更する事。入社時には2セット(上着、ズボン、シャツ、ネク

タイの制服を支給する事。以後は、隔年毎に1セットずつの制服を支給する事。

(経) 前向きに検討します。今後入る新人にいつから2セットずつの支給にするか決めたいと思います。

4、駐車棟の照明設備の更新計画、駐車棟・事務所棟の諸設備の保守・更新計画の明示。

(経) 駐車棟の照明については、見積りをし、全棟LEDで検討しています。予算の関係上、半分ずつ行う予定です。

(組) 来年度に持ち越さず、一気に取り替えて下さい。

5、「2015年度出番表を12月中旬に準備する事。」

(経) 今、作成しています。

(組) 今年はB出番に金曜日が多いという意見が組合員から出ましたので、来年度はA出番が12月に金曜出勤が多くなるように作成して下さい。

(経) 考慮します。

6、年始には例年通り「三笠山」を支給する事。

(経) 「三笠山」にする必要はありませんか？

(組) 東洋交通で長年続けていることですから。それを楽しみにしている乗務員もいます。「三笠山」でお願いします。

※その他に、9月5日、6日に行われた明番集会で出された意見についての回答がありました。

●「谷津船橋」の帰路料金が会社負担になっていない

(経) 何度も日交データサービスに申し入れはしています。乗務員から言われたものは会社負担にしていますが、過去の利用を調べて、自己負担になっているものは返金します。

●風呂場の修繕について

(経) 只今、工事中です。(10月1日現在)

●「障害者割引」についての表示、計算に

ついて (経) 今までの表示に戻すように申し入れましたが、日交データサービス側からは前と変わっていないと言われています。「障害者割引」は計算して営業収入には入っています。

●無線配車・スマホ配車について

(経) 「六本木ヒルズ・レジデンス」の迎車を空転にすることについては、契約した時の条件になっています。回送表示で向かって下さいという指示については、ディスプレイの間違った指示です。決まりではありません。

その他、無線配車の距離や待ち時間などについては、現在は基準はありません。

現時点では基準ができるという約束もできません。

近くに車がなければ遠くにいる車が呼ばれます。待ち時間においても、無線室のスタッフの人数が足りない為、今増やしている状況です。一人に対応できるようにするには1ヶ月以上かかるそうです。現状は色々申し入れることは難しいです。

第七〇回 全自交労連定期大会

2014年10月16日、17日の二日間、広島県民文化センターにて「全自交労連第70回定期大会」が開催されました。東洋交通からは菊池執行委員長、福島書記長、河西執行役員が参加しました。初日は1年間の活動報告・闘争総括、2013年度会計報告、会計監査報告が行われ、満場一致で承認されました。



挨拶する 伊藤中央執行委員長



2日目は、新年度の運動方針、予算の提案についての質疑、討論がおこなわれ、挙手によって承認されました。規約改正の提案については無記名投票を行い可決されました。

最後に「ハイタク労働者は、重要な公共交通を日々現場で担いながらも、長年にわたり長時間労働と低賃金の厳しい状況に置かれてきた。全自交労連は、ハイタク産業が安全・安心とともに利用者に信頼される公共交通となるため、ハイタク労働者の労働条件の確立と、社会的地位の向上に向け、一丸となって運動することをここに宣言する。」と大会宣言を行いました。

今年開催地が広島ということ、来年原爆から70年を迎えるにあたり、「核も戦争もない21世紀を求める特別決議」も行われました。地方のブロックから参加された代議員の方々は原発再稼働の問題や、労働条件について悲痛な叫びで訴えていました。

東京で働く私たちが政治の中心で運動をし、地方の仲間の声を届け、賃金・労働条件の改善に全力をあげていかなければならないと感じさせられる大会でした。

来年度の定期大会は神奈川県で開催されます。